

教育システムの構築を目指して～ Vol.1

て過ごせる学校

づくり

学級づくり

をを生かし、全ての教職員がめめることが大切です。

教職員それぞれの役割を明確化

授業のユニバーサルデザイン

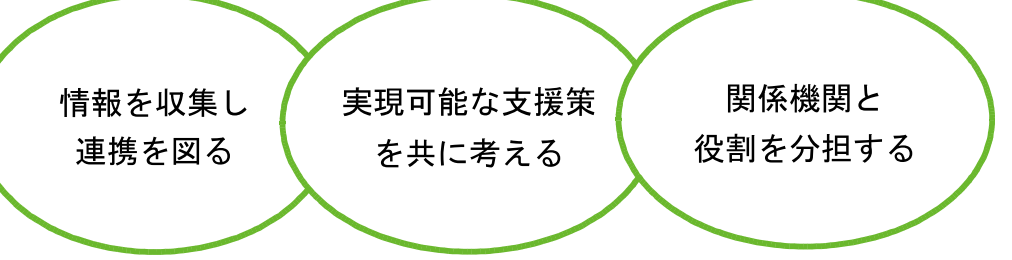
特別支援教育の視点を教科指導や学級経営に取り入れ、発達障害のある児童生徒も学びやすいように工夫することで、結果的に全ての児童生徒が楽しく「分かる」「できる」授業づくりや学級づくりにつながります。



地域

ネットワーク 子どもの 目指して～

関係機関とつながり、チームでサポートしていくことが大切です。情報を共有し、問題解決に向けて協働していきましょう。



もうちょっと知りたいときの「用語解説」

特別支援教育とは
障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるもの。

合理的配慮とは
障害者が他の者と平等にすべての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないもの。

基礎的環境整備とは
「合理的配慮」の基礎となる環境整備。障害のある子どもに対する支援については、法令に基づき又は財政措置により、国は全国規模で、都道府県は各都道府県内で、市町村は各市町村内で、教育環境の整備をそれぞれ行う。

- 〔参考・引用文献〕
- ※国際連合総会採択（平成18年12月）「障害者の権利に関する条約」
 - ※文部科学省（平成24年7月）「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」
 - ※文部科学省（平成19年4月）「特別支援教育の推進について（通知）」
 - ※文部科学省（平成28年1月）「合理的配慮普及推進セミナー」

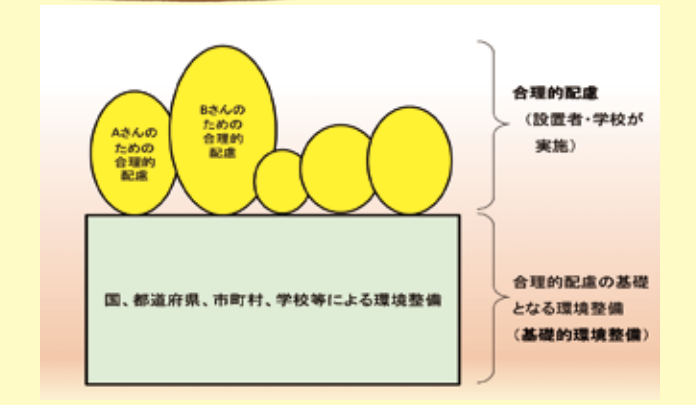
（以下もご活用ください）

- ◇文部科学省 HP (http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htm)
特別支援教育の最新情報が掲載されています。
- ◇インクル DB (<http://inclusive.nise.go.jp/>)
文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」において取り組まれている実践事例に関するデータベースやインクルーシブ教育システム構築に関する様々な情報が掲載されています。
- ◇奈良県立教育研究所 HP (<http://www.nps.ed.jp/nara-c/>)
調査研究の研究紀要等が掲載されています。

平成29年6月
問い合わせ先
奈良県立教育研究所特別支援教育部
〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町多722 Tel.0744-32-8201

インクルーシブ教育システムとは
人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が教育制度一般から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされている。

「合理的配慮」と「基礎的環境整備」の関係



（合理的配慮普及推進セミナーより一部抜粋）

『共生社会の実現に向けて』

～インクルーシブ教育システムの構築を目指して～ Vol.1



インクルーシブ教育システムでは、障害のある子どもと障害のない子どもができる限り同じ場で共に学ぶことを目指します。その場合には、単に学ぶ場を同じにすることを目的とするのではなく、それぞれの子どもが授業内容が分かり、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けるという視点をもつことが重要です。

- 🌸 目の前の子どもの姿を大切にしましょう
- 🌸 「どんな力を付けたいか」を考えましょう
- 🌸 認め合える集団づくりを目指しましょう



以上の点を大切にすることが、合理的配慮の提供や基礎的環境整備の充実につながります。

奈良県立教育研究所

『共生社会の実現に向けて』～インクルーシブ

誰もが安心して

学校

交流及び共同学習

障害のある児童生徒の経験を広げ社会性を養い豊かな人間性を育みます。また、障害のない児童生徒にとっても、共に支え合って生きていくことを学ぶ機会になります。



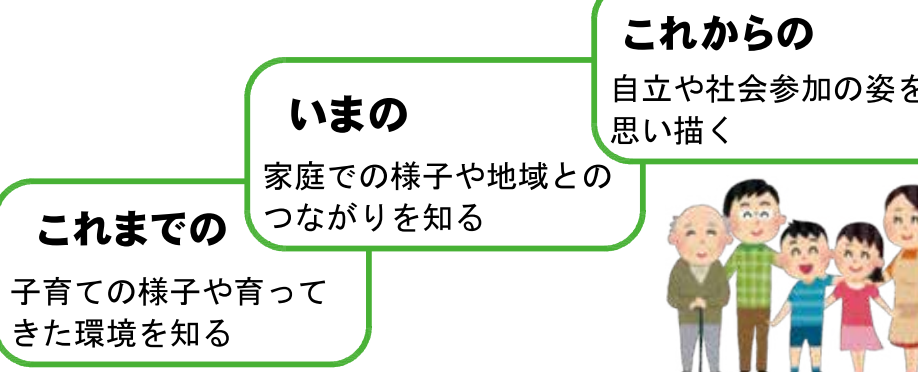
授業づくり

共に学ぶ学校づくり
今ある学校の支援体制 共通理解を図りながら進

校内支援委員会の活用

家庭

子どもの育ちを支えるために、保護者と共に考える姿勢を大切にしていきましょう。



つながるネ ～全ての 社会参加を



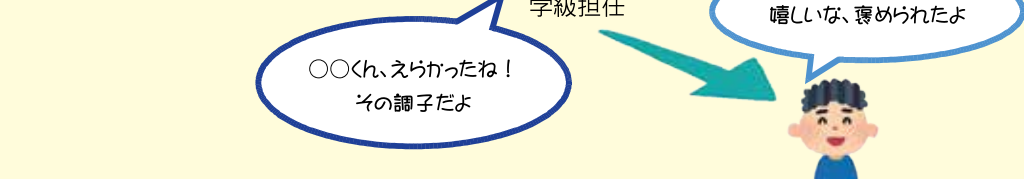
「全校で取り組む校内支援」

やっぱり大事！
日常的な教職員のつながり

みんなで取り組もう！子どもの『いいところ見付け』 【桜井市立桜井西小学校】

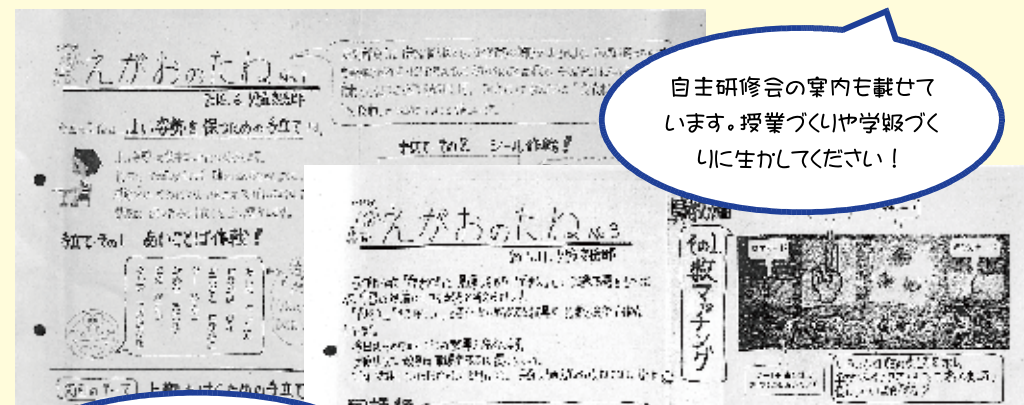
子どものいいところを見逃さず
に学級担任へ伝えられるよう、カ
ードを使って確実に伝える工夫

- * 全教職員で子どもを見守る意識
- * 帰りの会などを利用して、良さを伝え合う機会
- * 認め合える場の増加



こんな工夫はどう？教職員への情報発信！ 【生駒市立吉分小学校】

教室で使える教材の工夫を全教職員へお知らせ
↓
* 教職員もみんなで支え合う雰囲気づくり
* 目に触れやすいよう、拡大して職員室に掲示
* 「これならやれそう！」と思える具体的な提案



こんなお助けシートを用意しておけば、あの子どもでキライ！

教職員の日常的なつながりを大切にする取組は、早い段階で子どものつまずきに気付き、対応できる学校づくりになります！

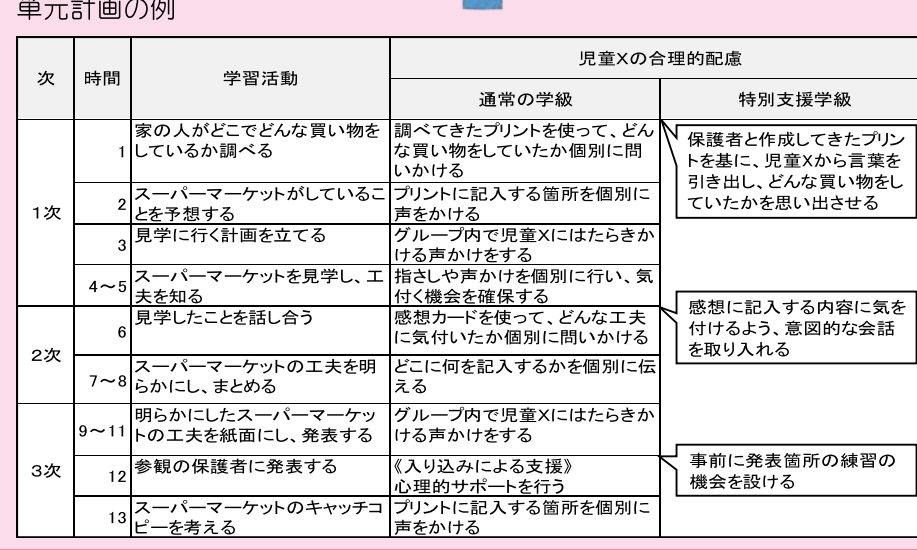
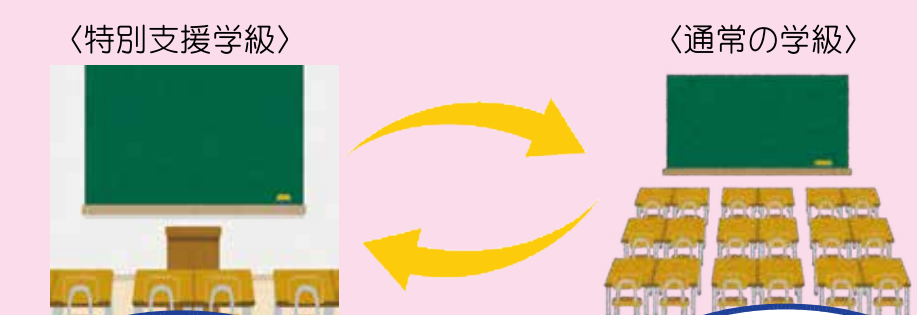
「授業のねらいを明確にした交流及び共同学習」

特別支援学級と通常の学級の学び
を関連させよう！ 【桜井市立桜井西小学校】

いつ、どこで、何を学ぶ？見通しを立てた単元計画！

通常の学級での学びにおいて、特別支援学級では得られない成果をあげる学習の機会

- * 特別支援学級における指導と関連させた単元計画の作成と指導
- * 学習活動への参加と授業内容の理解のための合理的配慮の提供
- * 特別支援学級に在籍する子どもが通常の学級で学ぶ際の学習の目標の明確化



障害の有無や学ぶ場所によって区別されることなく子どもが今日は何が分かるようになるのかを大切に、共に学ぶ仲間との認め合える関係づくりを進めましょう！

今日、分かるようになることはこれ！
目標を明確にした授業への参加 【生駒市立吉分小学校】

確かな学びにつなげよう！子どもも学習の目標をもって授業に参加

今日は何を学ぶのか、何に気を付けたいのかを記入し、対象の子ども、特別支援学級担任、授業者の3者で活用

- * 自己理解につなげるために子ども自身も記入と確認
- * 特別支援学級担任はどこでつまずいたかを把握
- * 授業者は次の授業に生かす振り返り

年組	算数	単元名
(水)	〇	〇〇先生の感想
(木)	〇	〇〇先生から
(水)	〇	〇〇先生から

確は、筆算のやり方を忘れやすい。ママ先生が気を付けてくれるところをメモしてくれたから、確認できたよ！

児童と授業について振り返る。どこが分かりにくかったのかを聞き取り、次につながるポイントを記入する

児童と特別支援学級担任からの感想を読み、次の授業で気を付けること等を記入する

〇〇ちゃんの目標はこれ！その子に合った単元目標をもちよう

音楽	目標	目標に○を付ける
音楽	どの指導内容で、どの目標をわらうかを選択し、○を付ける	
音楽	友達や教師とともにリズムの特色を感じ取り、身体を動かす(友達の手を借りながら、友達や教師の真意を見よう)	
音楽	音楽に合わせて簡単な身体表現をする(音楽が流れている間、音楽を聴いて動いたり止まったりする、リズムに合わせて動かす)	
音楽	打楽器などを使ってリズム遊びや簡単な合奏をする(自由につづ、演奏を合わせる、鳴らしたり止まったりする、リズムに合わせて動かす)	
音楽	好きな歌の歌詞やリズムの特色を感じ取り、身体を動かす(歌詞を聴いて動いたり止まったりする、リズムに合わせて動かす)	
音楽	好きな歌の歌詞やリズムの特色を感じ取り、身体を動かす(歌詞を聴いて動いたり止まったりする、リズムに合わせて動かす)	
音楽	好きな歌の歌詞やリズムの特色を感じ取り、身体を動かす(歌詞を聴いて動いたり止まったりする、リズムに合わせて動かす)	

特別支援学校学習指導要領を参考にして目標を立てる。加えて、具体的な方法を選択する項目も作成

- * 何ができれば目標達成なのかを事前に把握
- * 焦点を絞った指導と支援
- * 合理的配慮の確認欄により、入り込み支援の担当が変わっても同じ支援が可能

どんなことできていれば今日の目標が達成されたかが分かるし、合理的配慮を教職員間で理解できます！

教材の工夫、座席の位置、板書(文字の大きさや色)の有無、友達関係など、授業で対応する教員が変わっても同じ支援が行えるように配慮しておく

どの子どもも分かる授業づくりに継続して取り組むには、教員自身の達成感も大切です。子どもだけでなく教員も「できた」と思える授業を目指しましょう！

「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり」

主体的に学ぶ意欲を引き出そう！
『教材の工夫』 【斑鳩町立斑鳩南中学校】

やる気を継続！「ステップアップ」プリント

to play soccer	to read books	to bake cakes	to watch TV	to go shopping	to play soccer	to read books	to bake cakes	to watch TV	to go shopping
私はサッカーをやるのが好きです。	私は本を読むのが好きです。	私はケーキを焼くのが好きです。	私はテレビを見るのが好きです。	私は買い物をするのが好きです。	私はサッカーをやるのが好きです。	私は本を読むのが好きです。	私はケーキを焼くのが好きです。	私はテレビを見るのが好きです。	私は買い物をするのが好きです。
My hobby is () soccer.	My hobby is () books.	My hobby is () soccer.	My hobby is () TV.	My hobby is to () shopping.	My hobby is () soccer.	My hobby is () books.	My hobby is () soccer.	My hobby is () TV.	My hobby is to () shopping.

基礎基本を徹底したい 私はこっち！

この単元はよく行ったぞ！応用問題にチャレンジだ！

生徒が自分で取り組む部分を選ぶプリントを作成
* スモールステップは基本！確実にやれることで自信もアップ！
* 個々の生徒の作業速度や習得度の違いにも対応可能

自分で確認！学習計画&学習の振り返り

日付	学習内容	テスト	点数	テスト自己評価
1 / ()	・夏休みの振り返り ・2学期の授業について	1 Pre Lesson	/16	A・B・C 単語テスト
2 / ()	・助動詞 慣用表現① 演習 Will you? Shall I? Shall we?	2 Lesson 1A,B		プリント類 単語テスト
3 / ()	・Lesson A 目標 依頼や申し出をする	3 Lesson 1B,C		ワークP50 単語テスト
4 / ()	・助動詞 慣用表現② 演習 May I? 目標 許可を求める	4 Lesson 1C, Word Tree	/15	A・B・C 単語テスト
5 / ()	・Lesson B 目標 依頼や申し出をする	5 Word Tree, Lesson 2A	/15	A・B・C 単語テスト

(一部抜粋)

約10週分の学習計画表を配布。その日の学習を自分でチェック
* 学習の足取りを自己評価し、自信につなげられるように作成
* 単元の中での位置付けを把握して授業を受けるための計画

「分かる！」「やれるよ！」を目指した
『授業づくりと学級づくり』 【生駒市立吉分小学校】

目指せ、全員参加！ホワイトボードで思考を見える化

どの子どもも発言でき、互いの意見を知り合う場面設定

- * 聞いて覚えることが苦手でも、文字化されることで確認が可能
- * 書くことで見比べができ、意見整理がしやすくなる

同じ意見には○を付けるのがやりやすいね

学びをイコ化する！どの子どもも「分かる」授業づくり

話し合いの前や作業の前に、まずはスタートラインを揃える工夫

- * 順を追った指示で確実に理解を促す
- * 分かりやすい説明や発問になっているかを見直し
- * 教材提示のタイミングを意識
- * 見て分かる板書の工夫

「ありがとう」が増える仲間づくり

体育では、コーンやマットの位置をホワイトボードで示しながら説明

なるほど、そう並べればいいのね！

いいところを見てくれてありがとう！

席替え時に隣同士でメッセージを交換

- * 聞き漏らしがあったり、指示理解が苦手だったりする場合でも分かりやすい工夫
- * 時間計測で一体感アップ！「一緒にやろう」が増える動機付け

目の前の子どもからスタート！
『アセスメントを活用』 【宇陀市立榛原小学校】

どんな集団？！自分の学級を知ろう

学級のアセスメント

- * みんなが分かる授業を目指すには、まずは学級全体の様子を知る

気になる子どものアセスメント

- * 通級指導教室担当との情報共有により、子どもの特性と教育的ニーズを知る
- * チームでアセスメントすることで、多面的に自分の学級や気になる子どもを知ることが出来ます！



より多くの子どもが分かりやすい授業を作るための設計図

- * 気になる子どもへの配慮を事前に検討
- * 授業のねらいは何かを明確に
- * 授業を効果的に展開できるように計画

「この時間でやる工夫」が明確になります！

取組の柱	内容	方法
1	資料	
2	発表	
3	質疑応答	
4	振り返り	
5	評価	
6	授業の振り返り	
7	学び	

確にも分かる工夫があるから授業が楽しい！

どの子どもも分かる授業づくりに継続して取り組むには、教員自身の達成感も大切です。子どもだけでなく教員も「できた」と思える授業を目指しましょう！